

平成 29 年松本市議会第 1 回臨時会

市長提案説明

[29.5.17(水) AM10:00]

本日ここに、平成 29 年松本市議会第 1 回臨時会を招集いたしましたところ、議員の皆様方には、おそろいでご出席をいただき、厚く御礼を申しあげます。

さて、皆様ご承知のとおり、先月 22 日、前松本市長、また、松本市の名誉市民でもございました有賀正氏のご逝去されました。

この場をお借りして、心からご冥福をお祈りいたします。有賀前市長には、松本市発展のため、多大なご尽力を賜り、松本市民を代表して、深く敬意を表するとともに、心から感謝を申しあげる次第でございます。

あさって 19 日には、松本市並びに松本市議会を始めとする関係団体による実行委員会によって、故人を偲ぶ「お別れの会」を開催いたしますので、市民の皆様方も大勢ご参列いただければと存じます。

さて、本年、松本市は、先人のたゆまぬご尽力により、市制施行 110 周年の節目を迎え、去る 1 日、議員の皆様を始め、大変多くの市民の皆様にもご参加いただき、市制施行 110 周年の記念式典を盛大に挙行することができました。

この式典では、松本市の総合的な健康関連施策に大変強い関心をお寄せいただいている、ノンフィクション作家の柳田邦男氏に「危機の時代に生きる～問われる価値観の転換～」と題し、大変示唆に富んだご講演をいただきました。

また、世界的なバイオリニストである、天満敦子氏には、記念の演奏をいただき、世界一流の素晴らしい音色に聴衆

の皆様が魅了されたところでもございました。

お二人は、刮目に値するがごとき聴覚を介しての言論や音楽を通じ、難局の今をどう生きていくべきか、私たちに知恵を授け、併せて私たちの心を揺り動かしてくれました。

私は、市民の皆様が110周年の歴史の上に立って自らの心を耕し、改めて、品格ある地方都市の形成に、それぞれのお立場で引き続きご尽力いただくようお願いして止みません。

このような観点からも、来月17日に開催することとしたしております「第57回全日本花いっぱい松本大会」につきましては、「花いっぱい運動発祥の地」としての原点に立ちかえり、人々の心に花を咲かせ、平和な世界を希求する機運となるような大会にするため、未来を担う若い世代の皆様に積極的にご参加いただくよう、鋭意準備を進めてまいります。

次に、先月、ロンドンで開催されました「国立研究開発法人 日本医療研究開発機構」ロンドン事務所の主催による、「高齢化社会の健康増進政策に関する日英シンポジウム」について申し上げます。

このシンポジウムでは、私自身が、松本市の健康寿命延伸施策や松本市内の小中学校で実施している保健指導など、これまで松本市が粘り強く、地道に取り組んでまいりました様々な施策を紹介いたしましたところ、シンポジウムを総括したロンドン大学のイアン・スコット教授を始め、参加者の皆様から高い評価をいただいた次第でございます。

世界的に健康寿命の延伸が課題となる中、松本市の取り組みを海外の方々に高く評価いただいたことから、今後も、これまでの取り組みをぶれることなく進めるとともに、世界に松本市の取り組みがより一層広がることを期待しているところでございます。

さて、すでにご承知のとおり、先月25日から28日に

かけ、松本市の姉妹都市であるスイス・グリンデルワルト村の皆様が、アンデレック・クリスチアン村長を団長に、松本市を公式訪問されました。

25日の歓迎夕食会では、駐日スイス大使であられるジャン・フランソワ・パロ大使をお招きするとともに、訪問団の皆様にご披露いただくなど、大変和やかで、楽しいひと時を過ごすことができました。

本年は、7月に、松本市側がグリンデルワルト村を訪問することとなっておりますので、若い世代の皆様との交流を深め、末永く両村市の交流が続いていくよう努めてまいります。

次に、「信州まつもと空港の国際チャーター便運航に伴う台湾高雄市への訪問」について申しあげます。

去る11日から15日にかけて、信州まつもと空港と台湾の国際空港との間では、平成25年2月以来となる国際チャーター便の運航が実現いたしました。

お陰様で、このチャーター便には、私と犬飼議長をそれぞれ団長、副団長とし、多くの市民の皆様や市内3校の中学生にもご参加いただいた高雄市への公式訪問団のほか、台湾観光を楽しむ一般の方々にも大勢ご搭乗いただくことができたところでございます。

公式訪問団は、台湾滞在中、高雄市政府を表敬訪問し、陳菊市長にもお会いするとともに、高雄市の健康福祉や教育の分野において、さらに一歩進んだ交流を図ってまいりました。

具体的には、健康福祉の分野におきましては、高雄市の
ちょうせい
長青高齢者総合サービスセンターなどの健康福祉関連施設を視察するとともに、高雄市民の皆様と意見交換を行ってまいりました。

その際、松本市側からは、松本市の健康寿命延伸に寄与いただいている、「松本市食生活改善推進協議会」の推進員の皆様により、減塩活動等の食生活改善にかかる取り組み

を、実際に減塩料理の試食や講演を通して紹介していただきました。

また、教育の分野におきましては、鎌田、旭町、並びに開成中学校の生徒が、高雄市の鳳甲国民中学校を訪問し、高雄市の中学生と友好を深めてまいりました。加えまして今回は、両市の関係者による大学間交流や経済観光交流に関しても進展が図られ、今後の都市間交流がより一層厚みを増すことが期待されるところでございます。

本市といたしましては、今後も引き続き、高雄市との「健康・福祉・教育分野の交流に関する覚書」に基づき、更なる交流を推進してまいります。

また、まつもと空港の国際チャーター便につきましては、この度の台湾への運航とともに、先月には、韓国からのチャーター便が運航され、更に、7月には、ロシアからのチャーター便が計画されておりますことから、松本市といたしましては、今後も県とともに、海外との季節定期便の早期就航など、まつもと空港の国際化が図られるよう、努めてまいります。

次に、「イオンモール松本の開店に伴う交通対策」について申しあげます。

皆様ご承知のとおり、本年秋季に開店が予定されておりますイオンモール松本では、工事が着々と進められ、建物の全貌が姿を現しつつあります。

このような中、開店を心待ちにしている市民の皆様もおられることと推察をいたしますが、一方で、開店に伴う中心市街地を始めとしたまちなかの交通渋滞を心配される皆様も多く、その具体的な対策が喫緊の課題となっております。

そこで、松本市におきましては、県を始めとする関係機関、関係団体、また、イオンモール株式会社や地元の皆様にもご参加いただき、本年1月に「中心市街地交通対策会

議」を立ち上げ、松本市などが行う公共交通の充実や利用促進など様々な交通対策について、皆様と、鋭意、協議を行っているところでございます。

そこで、先月27日には、実務者により、個別、具体的な渋滞対策について、情報交換を行い、協議を重ねたところでございます。

松本市といたしましては、引き続き、「車を優先した社会の転換」を目指し、「松本市次世代交通政策実行計画」を着実に進めることにより、イオンモール松本の開店により予想される交通渋滞の緩和に努めますとともに、関係機関などの皆様と連携を密にし、中心市街地の交通渋滞対策に取り組んでまいりますので、議員の皆様方におかれましてもご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

それでは、ただいま上程されました議案につきまして、ご説明申し上げます。

本日提案申しあげました議案は、契約3件のほか、専決処分の報告4件の計7件でございます。

まず始めに、工事請負契約の締結3件につきましては、老朽化した中条保育園の改築主体工事、並びに芝沢小学校及び波田中学校の大規模改造第1次整備事業第2期主体工事を提出しております。

また、緊急を要し、地方自治法第179条の規定により、去る3月31日付けで専決処分いたしました、市税条例及び国民健康保険税条例の改正、並びに去る3月24日付けで専決処分いたしました、平成28年度一般会計補正予算などをご報告申しあげております。

補正予算につきましては、緊急やむを得ない理由により、予算措置が必要となりました経費を中心に計上し、補正額は、5億8,052万円の追加、補正後の一般会計の予算規模は、914億937万円、前年同期比では、0.9パーセントの減、全会計では、1,748億7,525万

円で、前年同期に対し、１億７，９５８万円の増、率にして０．１パーセントの増となっております。

そのほか、議案以外のものとしたしましては、市長の専決処分事項の指定にかかわる報告３件を報告いたしております。

以上、本日提案いたしました議案等についてご説明を申しあげましたので、よろしくご審議を賜りますようお願い申しあげます。

(以 上)